

会議の名称	令和2年度 第2回あま市人権施策推進審議会書面会議	
日時	令和2年5月22日（金）	
経緯	令和2年5月22日（金）に開催の予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面会議での開催に変更	
方法	①会議資料、意見書等を全委員に送付。 ②事務局にて意見をまとめ、第3回あま市人権施策推進審議会にて報告を行う。	
委員	加藤委員 近藤委員 猿渡委員 鈴木委員 塚本委員	服部委員 菱田委員 吉田委員 村上委員 吉川委員
公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）	公開	
傍聴人	なし	
事務局	企画財政部人権推進課	
報告事項	(1) 令和2年度あま市人権施策推進審議会会長及び職務代理者の選出について (2) 寺尾すみ子委員の退任と近藤哲夫委員の就任について	
議題	(1) あま市人権尊重のまちづくり条例の一部改正について (2) 今後のスケジュールについて (3) あま市人権に関する市民意識調査について	
会議資料	資料1	あま市人権尊重のまちづく条例の一部改正に向けた考え方について（諮問）
	資料2	令和2年度あま市人権施策推進審議会スケジュール（案）
	資料3 - 1	あま市人権に関する市民意識調査（素案）
	資料3 - 2	あま市人権に関する市民意識調査業務 工程表
	資料4	あま市人権施策推進審議会出席者名簿
	参考資料	あま市人権尊重のまちづくり条例

議題（１）に  
関する意見

- ・ 様々な人の、様々な考え方があると思うが、行政事業を審議会にはかるとき、審議会にはかるその目的をあらかじめ委員にしっかり伝え、有意義な内容にしてほしい。
- ・ 新型コロナウイルスによって、ニューノーマル（新常態）の社会が問われている。そのような社会での人権のあり方も必然的に新たな形態が問われている。課題は多様で深刻。それらに答えられる改正向けた取り組みでありたいと願っている。
- ・ 差別とは私たちが生きる為の最大のウイルス。誰もが幸せに生きたいと願っているが、差別というウイルスがで国中に蔓延している。コロナウイルスは撲滅できるが、差別というウイルスは私たち人類の最大の敵であることを忘れてはいけない。
- ・ すべての人権について、私達はどのように考えているのか。一人一人が思い浮べ考えたことが有るか。日常はまったく考えもしないと思う。しかしながら、自分の命にかかわる事態（コロナ）になった時、初めて一人一人の人権（命）が大切だと思い知らされると思う。そこで提案だが、教育こそが人を育てていく教えだと思う。一層の人権教育（同和）の充実を願う。
- ・ 旧来の考え方は、女性は家事・育児等、家庭中心。世界を見ると、コロナウイルスの対策について、女性がリーダーの国では、感染症対応が早く、一定程度成果を挙げている。これからの時代は女性が活躍する世紀に入った。すべての場を通じ、女性の進出機会を与えていく事が重要。
- ・ 前文 6 行目「社会情勢の変化等により」を「社会情勢の変化及び災害、疾病等により」に変更できないか

<p>議題（２）及び（３）に関する意見</p>	<p><b>【人権に関する市民意識調査票】</b></p> <p>表紙 20 歳以上を 18 歳以上にしては</p> <p>問 2 70～79 歳以上、80 歳以上に分けては。 （高齢者が増加していること、70 歳は地域でも活動的なこと）</p> <p>問 4 不要では。</p> <p>問 6～9 不要では。</p> <p>問 1 5 1. 「あらぬうわさ」の「あらぬ」は不要では （うわさはあらぬだろうが、あるだろうが、人を傷つける）</p> <p>問 1 5 8. セクシュアル・ハラスメントとストーカーを分ける。 （この二つは全く別）</p> <p>問 1 6 13. LGBT 等の表現を入れたい。</p> <p>問 1 8 8. 性犯罪⇒性被害では。性被害と売買春は別物では。</p> <p>問 2 4 新型コロナウイルス感染者の人権を追加してみては。</p> <p>問 2 9 1. 本人の意思に反して⇒本人の意思は関係ないので</p> <p><b>【男女共同参画に関する市民意識調査票】</b></p> <p>問 6 3. 「就きたがらない」と「就けない」は同体するには違和感がある</p> <p>問 1 0 10. 在宅勤務は抹消せず生かしてほしい</p> <p>問 1 5 2. 職場や組織の監督者⇒職場や組織の管理者</p> <p>問 1 6 追加 8. 家族や親せき等に理解が得られない。 両親や叔父叔母などに、世間体などで反対されることもある。</p> <p>問 2 9 設問の「男女平等参画社会」⇒「男女共同参画社会」</p>
-------------------------	---